



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

東京2025デフリンピック

東京都生活文化スポーツ局
事業調整担当部長

清水 俊二郎

目次

1 東京2025デフリンピックの概要

2 大会を通してめざすもの(東京都の取組)

1 東京2025デフリンピックの概要

1-1 デフリンピックとは？



きこえない・きこえにくい選手のための
国際的なスポーツ大会



デフリンピック

4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごと交互に行われ
る、きこえない・きこえにくい選手のための国際スポーツ大
会です。第1回夏季大会は1924年にフランスで、冬季大会
は1949年にオーストリアで初めて開催されました。1924
年に設立された、当事者であるきこえない・きこえにくい人
たち自身が運営する国際ろう者スポーツ委員会が大会を
運営しており、現在では104カ国が加盟しています。

1-1 デフリンピックとは？（視覚的情報保障）

デフスポーツの視覚的情報保障



フラッグ (サッカー)



スタートランプ (陸上)



注意喚起のランプ (空手など)



スタートランプ (水泳)

1-2 東京2025デフリンピック（概要）

開催日程 2025年11月15日～26日（12日間）

初開催から

100周年

オリンピック同様4年に1度開かれるデフリンピックは、1924年にパリで第1回大会が開催。日本初開催となる2025年は、100周年の節目の大会がここ東京で開かれます。

参加国・地域

70~80カ国・地域

大会の参加選手

約**3,000**人

競技数

21競技

競技一覧

陸上 / バドミントン / バスケットボール / ビーチバレーボール / ボウリング / 自転車（ロード） / 自転車（MTB） / サッカー / ゴルフ / ハンドボール / 柔道 / 空手 / オリエンテーリング / 射撃 / 水泳 / 卓球 / テコンドー / テニス / バレーボール / レスリング（フリースタイル） / レスリング（グレコローマン）

1-2 東京2025デフリンピック（競技会場配置図）

会場

主に都内のほか、福島県・静岡県



1-2 東京2025デフリンピック（競技会場一覧）

| | 競技名 | 会場 |
|----|-----------|----------------------------|
| 0 | 開閉会式 | 東京体育館 |
| 1 | 陸上 | 駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場 等 |
| 2 | バドミントン | 武蔵野の森総合スポーツプラザ |
| 3 | バスケットボール | 大田区総合体育館 |
| 4 | ビーチバレーボール | 大森ふるさとの浜辺公園 |
| 5 | ボウリング | 東大和グランドボウル |
| 6 | 自転車（ロード） | 日本サイクルスポーツセンター |
| 7 | 自転車（MTB） | 日本サイクルスポーツセンター |
| 8 | サッカー | Jヴィレッジ |
| 9 | ゴルフ | 若洲ゴルフリンクス |
| 10 | ハンドボール | 駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場 |

| | 競技名 | 会場 |
|----|--------------------|-----------------------------|
| 11 | 柔道 | 東京武道館 |
| 12 | 空手 | 東京武道館 |
| 13 | オリエンテーリング | 日比谷公園、伊豆大島 |
| 14 | 射撃 | 味の素ナショナルトレーニング センター・イースト |
| 15 | 水泳 | 東京アクアティクスセンター |
| 16 | 卓球 | 東京体育館 |
| 17 | テコンドー | 中野区立総合体育館 |
| 18 | テニス | 有明テニスの森 |
| 19 | バレーボール | 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館 |
| 20 | レスリング (フリースタイル) | 府中市立総合体育館 |
| 21 | レスリング (グレコローマン) | 府中市立総合体育館 |

1-2 東京2025デフリンピック（大会ビジョン）

1 デフスポーツの魅力や価値を伝え、 人々や社会とつなぐ

- ・ デフアスリートを主役に、最高のパフォーマンスを発揮できるよう大会準備を進め、その姿を通じて、本来、スポーツが持っている素晴らしさとともに、デフリンピックやデフスポーツの魅力や価値を発信し、普及・啓発に努める。
- ・ また、あらゆる人が協働した大会運営や子どもたちの参画など、多様な視点を大切にしたい大会運営をめざす。

2 世界に、 そして未来につながる大会へ

- ・ 大会を通じた手話言語の理解・普及・拡大など従来からの情報保障の推進・強化に加え、デジタル技術を活用した、新しいコミュニケーションツール等の開発、社会への普及を促進する。
- ・ このような取組を通して、国籍や障害のあるなしに関わらず、誰もが心を通わせることのできる街・東京の魅力を感じてもらい、世界との絆を深めていく。

3 “誰もが個性を活かし力を発揮できる” 共生社会の実現

- ・ 大会開催を機に、デフリンピック・ムーブメントとして、デフスポーツやろう者の文化への理解を促進し、障害のある人とない人とのコミュニケーションや心・情報・街のバリアフリーをさらに推進する。
- ・ このムーブメントを通して、互いの違いを認め、尊重しあい、誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会づくりに貢献する。

1-2 東京2025デフリンピック（その他）

デフリンピックスクエア

- 大会運営本部、輸送のハブ、メディアセンター、練習会場等の機能をもつ大会運営拠点
- 新技術を活用したユニバーサルコミュニケーションや交流、芸術文化の体験等、選手や来場者向けの様々なサービスを展開

デフリンピックスクエアを
国立オリンピック記念青少年総合センター
に設置



ボランティア

- 大会運営に携わる人材の確保・配置等を計画的に行い、大会を成功に導くことのできる体制を構築
- 3,000名募集
- **11月15日から募集開始**

2 大会を通してめざすもの(東京都の取組)

2-1 「ビジョン2025」の5つの柱

- 1 みんながつながる
- 2 世界の人々が出会う
- 3 こどもたちが夢をみる
- 4 未来へつなぐ
- 5 みんなで創る



大会2年前事業「みるカフェ」

デジタル技術を活用し、誰もがつながることができるコンセプトカフェをオープン

新しいコミュニケーションの形を体験できる
「みるカフェ」を期間限定オープン

2023
11/15

~

2023
11/26

コーヒーを味わいながら、障害のある人もない人も誰もが最新のデジタル技術を用いたコミュニケーションの体験ができるカフェ。店内には、音声を文字化するディスプレイや音を振動に変換する機器など、多彩なデジタル技術が盛りだくさん。

実施内容 UC(ユニバーサルコミュニケーション)技術体験、
デフアート展示、デフリンピック情報の発信 など



2-2 みんながつながる

都有施設への透明ディスプレイ設置

円滑なコミュニケーションの実現を目指し、音声を多言語で表示する透明ディスプレイを設置

- 都庁舎総合案内ほか、全38施設に設置
- 会話をリアルタイムに文字に変換し、ディスプレイに投影するとともに32カ国語の多言語での表示が可能
- 声を発することが難しい聴覚障害者の方などは、付属のタブレットにより文字入力を行い、ディスプレイに表示することが可能



民間企業等と連携した新たな技術の開発

「音が見える、音を感じる競技会場の実現」をテーマにスタートアップから提案を募集

- ・ 優勝企業と連携し、競技音を擬音で表示する技術を開発
- ・ 開発した技術を活用・PR

卓球のラリー音を
オノマトペ（擬態語、
擬声語）で表示



大会を通じて、ユニバーサルコミュニケーション技術の社会への浸透を促進

2-3 こどもたちが夢をみる

大会エンブレム

大会のシンボルとなるエンブレム制作に子供たちが参画する取組を展開

- ・ デザイン案は、国内で唯一の聴覚障害者・視覚障害者のための国立大学である、筑波技術大学の学生が制作
- ・ 都内の中高生がグループワーク（意見交換）を経て、投票を行い、デザインを決定



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

- ・ 人々の繋がりを意味する「輪」をテーマに、デフコミュニティの代表的なシンボルである「手」を表現
- ・ デフリンピックを通して、「輪」が繋がった先には、新たな未来の花が咲いていくことを表現



2024年11月15日
発表

メダルデザイン

全国の小中高生によるオンライン投票でメダルデザインを決定

A

ミライへの懸け橋

- 東京日本橋を起点に大会が未来への懸け橋となる
- 桜の大輪は感動を体験する場を表す
- メダルリボンは空を想起する瑠璃色、広がる未来を菊繋ぎ紋で表現



表



裏

B

未来へ花咲くサクラ

- 東京都の花である桜(ソメイヨシノ)を輝く星とシスター誕生への想いを表現
- 裏に河津桜と枝垂れ桜を描き多様性を表現
- メダルリボンには桜色を使い、花開く希望を表現



表



裏

C

みんなで羽ばたく

- 吉祥の鳥・鶴で選手の飛躍を祈念
- 折り鶴を縁起良い和文様(流水紋、工字繋ぎ、矢継、亀甲)で描く
- メダルリボンは江戸っ子が愛好した藍鉄色、菊繋ぎで繋がりを表現



表



裏

2-3 こどもたちが夢をみる

TOKYO FORWARD 2025 アスリート交流イベント for KIDS

アスリートや参加者同士の交流を通して「一緒につくり、楽しむ」イベントを実施

- ・ 子供たちがきこえる・きこえないにかかわらず、アスリートとの交流や参加者同士のコミュニケーションを通して、スポーツをするおもしろさはもちろん、きこえる人ときこえない・きこえにくい人が「一緒につくり、楽しむ」体験してもらうイベント



子供たちが大会を通じて多くのことを学び、成長をサポート

応援アンバサダー

デフスポーツや手話言語等に理解のある方などを起用し、共生社会の理解促進につなげる

東京2025デフリンピック応援アンバサダーに就任！

イベントの出演やSNS等を通して、大会をPRしていきます。



手話が得意なデジタルヒューマン

手話言語に親しみをもちてもらおう

デフリンピック学習コンテンツや、手話単語にふれることができる動画を制作

学ぼう！デフリンピック

- ・ 都内区市町村の全小学校の4～6年生に配布

しゅわしゅわ☆デフリンピック！



- ・ 子供たちが手話単語に触れるきっかけを提供するため、ダンス楽曲を制作



様々な学び、交流を通じて、共生社会の理解促進につなげていく

2-5 みんなで創る

(2024年10月現在)
メンバー募集中!

東京2025デフリンピック応援隊

各自治体等のキャラクターによる応援隊を結成し、全国各地で大会を盛り上げ



2-5 みんなで創る

様々な機会・地域での大会PR

様々なイベント等の機会を通して、都外での大会PRを実施

- 熊本、鹿児島、愛知で大会をPR
(2024年度和歌山県で実施予定)



鹿児島県総合体育センター 白波スタジアム

- とっとり手話フェス2024でPRブース出展



その他大会PR

- 2025年に大規模イベントを控える東京・大阪間での相互PR
- 外国人旅行者向けに、国際線機内誌（JAL、ANA等）へPR広告を出稿

2-5 みんなで創る

寄附・協賛の取組

大会の成功に向け、みんなで力をあわせて大会を創っていくための仕組みづくり

- 寄附やクラウドファンディングなど、多くの方が参画しやすい仕組み作りを進め、サポートの輪を広げる

東京2025デフリンピック 無音の世界で活躍するデフアスリートの世界大会を応援！

deaflympics2025_games ソーシャルグッド 東京都



無音の世界、無限の可能性。

現在の支援総額
2,956,000円
145%
目標金額は2,025,000円

支援者数
251人

募集終了まで残り
終了

このプロジェクトは、2024-05-24に募集を開始し、251人の支援により2,956,000円の資金を集め、2024-07-25に募集を終了しました

2025年11月、デフアスリートによる世界大会「デフリンピック」が初めて東京にやります。この「東京2025デフリンピック」を、開催国のみんなで作っていきたく思います。まだまだ知られていないデフリンピックを広め、大会を盛り上げるためのプロジェクトを始めます！

もう一度プロジェクトをやってほしい

クラウドファンディング

- 【実施期間】 令和6年5月24日～7月25日
- 【目標金額】 2,025,000円
- 【寄付金額】 2,956,000円

多くの方からご支援いただきました。
ありがとうございました！



様々な方々と一緒に「私たちの大会」を創出



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

ご清聴ありがとうございました。

**みんなでデフリンピックを素晴らしい
大会にしていきましょう！**